

# DefectManagementForArchive機能の設定に関して

パイオニア株式会社

2016/3/30

DefectManagementForArchive機能をご利用いただく場合は、

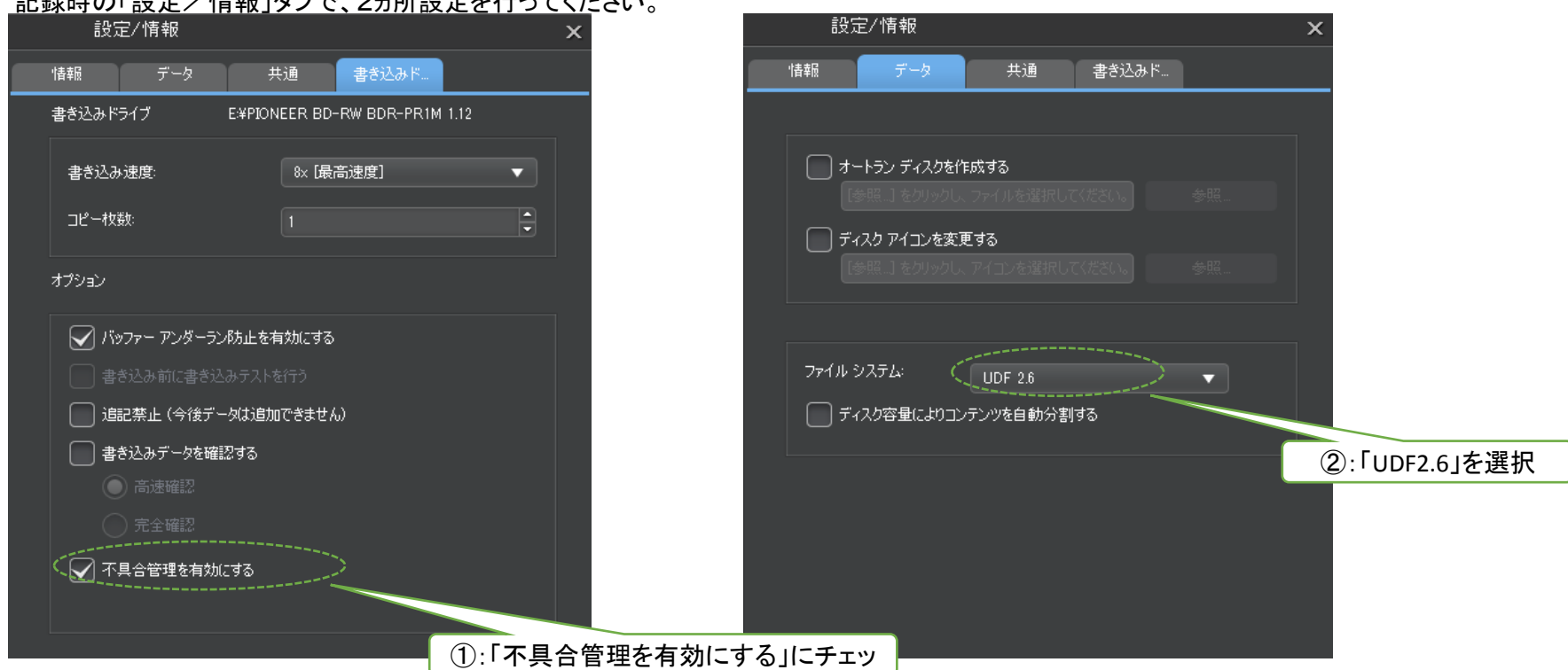
- ①ライティングソフトウェアによりディフェクトマネージメントが行われる設定にする(下記に設定例)
- ②未記録ディスクを挿入する
- ③ソフトウェアに沿ったライティング動作を行ってください。
  - ①により②の未記録ディスクにディフェクトマネージメントのためのディスクフォーマットが行われ、
    - ・対象のアーカイブメディアの場合 : JISZ6017相当の基準によりディフェクトマネージメントを行い高品質のアーカイブディスク作製を実現します
    - ・それ以外のメディアの場合 : 従来通りのディフェクトマネージメントを行います。

\*)但し、お客様の用途によりJISZ6017相当のディフェクトマネージメントを望まない場合には、専用のユーティリティソフトウェアによりON/OFFの切り替えが可能となります。ご希望の際は、お問い合わせメールフォームよりご依頼ください。

## <ディフェクトマネージメント設定例>

- ◆WINDOWS7/8/10 OSのライティング機能  
設定の必要はありません

- ◆Power2Go9の場合  
記録時の「設定/情報」タブで、2カ所設定を行ってください。



- ◆Nero BurningROMの場合

書込設定 > オプション ⇒ ドライブ情報タブで「BDディフェクトマネージメント」設定を行ってください。(ver. 16.0.11000にて確認)

